

(R4. 9. 29～30)

マツノクロホシハバチの 発生状況調査（大朝日岳）

朝日山地では、平成23年9月からマツノクロホシハバチによる大朝日岳周辺のハイマツで被害が目立ちはじめました。過去には、北海道でキタゴヨウの大規模な枯死被害が発生したこともあるため、朝日庄内森林生態系保全センターでは経過を見守りつつ必要な場合は捕殺を行うこととしております。

今年度は9月29～30日にかけて、大朝日岳周辺において当センター職員2名により、食害調査を行いました。

調査は、登山道上のハイマツを丹念に観察し、マツノクロホシハバチの発生の有無を確認しましたが、今回の調査では、マツノクロホシハバチは確認されませんでした。

今後も、朝日山地の貴重な生態系を保全管理するため、観測を継続していきます。



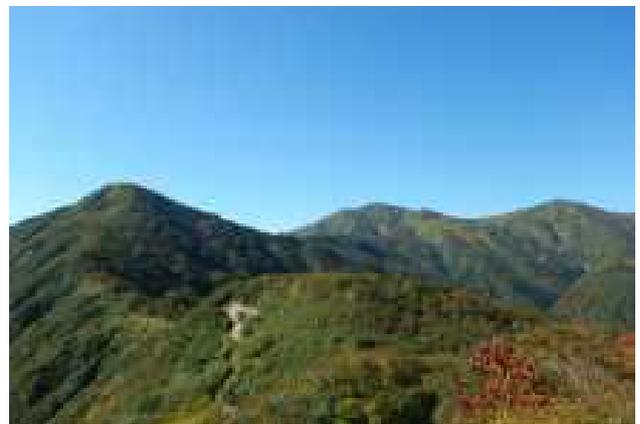
ハイマツの状況



大朝日小屋からの夕日



朝の大朝日小屋



古寺山付近から望む小朝日岳・大朝日岳・西朝日岳